

関係各位

2018年11月22日

佐賀大学
芸術地域デザイン学部
幕末維新博との連携事業チーム

代表 荒木 博申
(芸術地域デザイン学部 教授)

公開

佐賀大学美術館前
2018年11月28日(水)～30日(金)
点灯：午後5時～10時(予定)
点灯後の見学は屋外からのみとなります。

*1 幕末維新博との連携事業チーム

芸術地域デザイン学部3年次コア科目
「地域創生フォールドワーク」の一環
担当教員：荒木博申・中村隆敏
参画学生19人(本学部3年次)

*2 たまゆい

たま=玉・球・魂・霊/ゆい=結
この企画を表現するための造語。

問い合わせ先

佐賀大学 芸術地域デザイン学部事務室
電話：0952-28-8349

たまゆいの光

さが維新まつり「灯りの空間演出」再演

佐賀大学美術館での新規展示企画をご案内申し上げます。

初冬の夜を飾る、和紙製の大型球体イルミネーションをお楽しみください。

去る10月20日、佐賀市城内で「第1回さが維新まつり」が開催され、本学芸術地域デザイン学部のプロジェクトチーム*1では、佐賀県との連携事業として、まつりのフィナーレを飾る灯りの空間演出として「たまゆい*2の光」と題したインスタレーション作品を企画・制作・公開いたしました。

ところが、内外から一夜限りではあまりに惜しく、所を変えて公開してはどうかとの声が上がったことから再演を検討し、佐賀大学美術館がガラス張りであることを生かし、館内から館外へ向けて披露する企画を実施します。正門前を彩るイルミネーションイベントとして、通行中の方に楽しんでいただけるものと考えています。

作品は和紙(障子紙)を手でちぎり、幾重にも重ねて糊付けした中空の球体を大小88体(直径約90・60・30cm)制作し、内部に発光色が自在に変化するLED電球を仕込んで色彩の変化を演出するものです。

なお、まつりでは直正公像台座周りの360度プロジェクション・マッピング及び市内の小学生の描画による円筒形のランタン400個もセットのプログラムとなっていました。本展示では和紙による光の球体を主体とします。

あいにく、美術館の空き日程を利用した予定外企画のため、3日間のみ公開ですが、冬場の街中にあふれるイルミネーションとは一味違った幻想光景をお楽しみください。

さが維新まつりフィナーレ「たまゆいの光」(2018年10月20日土曜日/佐賀城公園/背後の電飾は浜崎祇園山笠)

和紙による灯りの球体

